

TA520

TA520は、横河電機の商標です。

品番	GP・IBボード	価格	動作環境
W32・TA520・R	ラトックシステム社	80,000 円 (消費税は含まれておりません。)	Win98SE/Me Win2000/XP Excel2000 Excel2002/2003
W32・TA520・C	コンテック社		
W32・TA520・N	NI社		
使用できる機種 TA520			

機能

タイムスタンプデータの取込み

- ・タイムバリエーション、及びヒストグラムの統計値をブロック別に取込みます。
 - ・タイムバリエーションデータを取込みます。また自動的に作図を行います。
- 全データ・ブロック別・範囲指定等での取込みが可能です。

ハードウェア・ヒストグラムデータの取込み

- ・ヒストグラムの統計値をウィンドウ別に取込みます。
 - ・度数データを取込みます。また、自動的に作図を行います。
- 全データ・ウィンドウ別・時間範囲指定等での取込みが可能です。

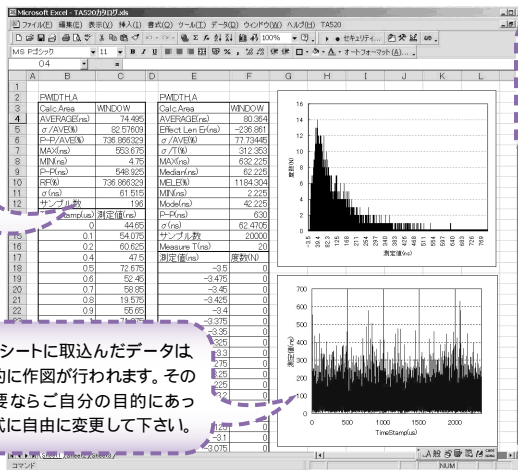
注)

- ・タイムバリエーションデータ、及び、度数データの一度に取込めるデータ数は、最大260K個です。
- ・ハードウェアヒストモードでAuto-Windowの時、ウィンドウ別の度数データは取込むことができません。
- ・ハードウェアヒストモードで、度数データでの作図結果は、TA520本体に作図されているヒストグラムとは異なります。
- ・データ取込時間についてPentium600MHzのパソコンを使用した場合、
10,000個のデータ取込時間は、約9秒
32,000個のデータ取込時間は、約24秒



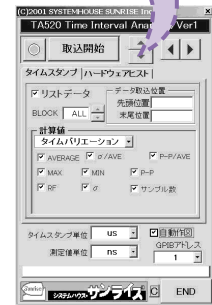
概要

データはExcelシートの現在のカーソル位置を先頭に下方方向に取込みます。(右図参照)
データ取込開始位置をカーソル位置で指定できますから複数のデータセットを1つのExcelシートに取込むことが可能となります。



本プログラムはExcel97上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。「取込開始」ボタンをクリックすると指定されたデータの取込みを開始します。

Excelシートに取込んだデータは、自動的に作図が行われます。その後必要ならご自分の目的にあった様式に自由に変更して下さい。



操作説明

本ソフトは、既に測定を完了している結果のデータをExcelに取込みます。従いまして、本ソフトでデータの取込みを開始する前に、事前に、測定器の設定と測定を完了しておいてください。

タイムスタンプデータの取込み

測定器からデータの取込を開始します。「タイムスタンプ」タブを表示中はタイムスタンプデータを取込み「ハードウェアヒスト」タブを表示中はハードウェアヒストのデータを取込みます。

Excelにタイムバリエーションのリストデータを取込む時にチェックします。

測定器のBlockがOFFに設定されている場合は「ALL」に設定します。測定器のBlockがONに設定されている場合、取込むブロック番号を指定できます。

取込む計算値の種類を下記より選択します。
・タイムバリエーション
・ヒストグラム

Excelに取込む計算値にチェックを付けます。

Excelへ入力するタイムスタンプ値の単位を指定します。

Excelへ入力する計算値と測定値の単位を指定します。



Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「取込開始」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方へデータを取込みます。

タイムバリエーションのリストデータ取込範囲を指定します。左部の「WINDOW」が「ALL」に設定されている場合にだけ入力が可能です。測定器のBlockがOFFの場合、及び、BlockがONでリストデータの範囲指定をしてデータを取込む必要がある場合に、取込範囲を指定します。1から512,000の範囲で入力します。空欄の場合は、全データが取込まれます。ただし、260,000個以上のデータを取込むことはできません。

リストデータを取込み後、自動的に作図を行います。ただし、Excelの作図データの最大が32,000個ですから、下記の制限があります。32,000個以上のデータを取込んだ場合、32,000個以降のデータは作図されません。また、データ数が32,000個以内であっても、複数列にまたがった場合、同一列内での作図となります。

測定器のGP・IBアドレスを設定します。

ハードウェアヒストグラムデータの取り込み

測定器からデータの取込を開始します。

「タイムスタンプ」タブを表示中はタイムスタンプデータを取込み、「ハードウェアヒスト」タブを表示中はハードウェアヒストのデータを取込みます。

Excelに度数のリストデータを取込む時にチェックします。

取込む計算値のウィンドウ番号を指定します。

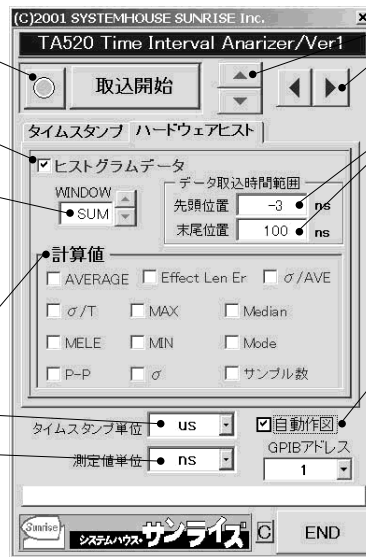
測定器のWindowがSingleに設定されている場合は「SUM」に設定します。

測定器のWindowがMulti/Autoに設定されている場合、「SUM」に設定すると、Summationの計算値を取込みます。また、取込むウィンドウ番号を指定してそのウィンドウごとの計算値を取込むことができます。
注) 測定器のWindowがAutoの場合、ウィンドウ番号を指定しての度数リストデータの取り込みはできません。「SUM」に設定し、取込時間範囲を指定し、度数リストデータを取込んでください。

Excelに取込む計算値にチェックを付けます。

ハードウェアヒストの度数データ取込では無視されます。

Excelへ入力する計算値と測定値の単位を指定します。



Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「取込開始」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

度数リストデータの取込時間範囲を指定します。左部の「WINDOW」が「SUM」に設定されている場合に入力が可能です。

測定器のWindowがSingleの場合、空欄にすると全度数リストデータを取込みます。

測定器のWindowがMulti/Autoに設定されている場合は必ず範囲指定が必要です。

・3.5nsから3,200nsの範囲で入力します。

ただし、260,000個以上のデータを一度に取込むことはできません。

リストデータを取込み後、自動的に作図を行います。

ただし、Excelの作図データの最大が32,000個ですから、下記の制限があります。

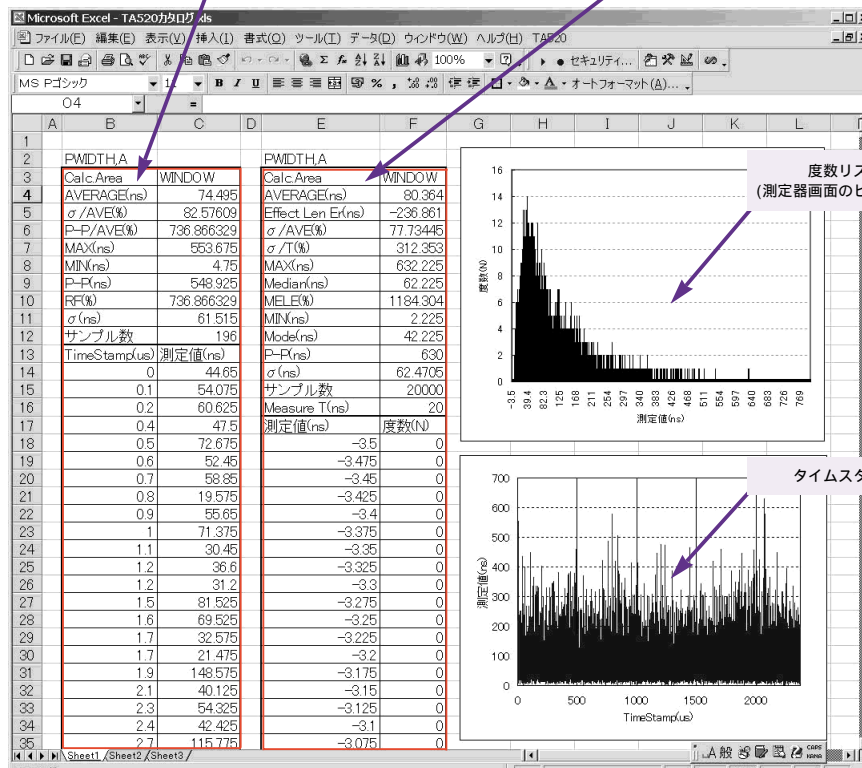
32,000個以上のデータを取込んだ場合、32,000個以降のデータは作図されません。また、データ数が32,000個以内であっても、複数列にまたがった場合、同一列内での作図となります。

注) 度数リストデータの作図は、Excelの棒グラフ機能により作図されるため、測定器画面に表示されているヒストグラム処理を行った図とは異なります。

データの取込例

タイムスタンプのデータ取込結果

ハードウェアヒストグラムのデータ取込結果



度数リストデータの作図結果 (測定器画面のヒストグラムとは異なります)

タイムスタンプデータの作図結果